



ヴァイオリン
千葉純子



ヴァイオリン
若生麻理奈



ヴィオラ
大島路子



チェロ
海野幹雄



ピアノ
川井綾子

チェンバー・ソロイストツ KANAGAWA 2023

ロッラ: 協奏的二重奏曲 op.15-3 ハ長調

ヴァイオリン 千葉純子 ヴィオラ 大島路子

ヘンデル(ハルヴォルセン編): パッサカリア

ヴァイオリン 若生麻理奈 チェロ 海野幹雄

シューマン: ピアノ五重奏曲 op.44 変ホ長調

ヴァイオリン 千葉純子、若生麻理奈 ヴィオラ 大島路子
チェロ 海野幹雄 ピアノ 川井綾子

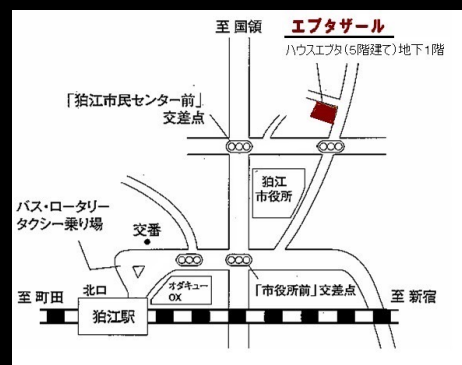
2023 7.8 [土] 15:00 開演 (14:30開場)

エプタザール (狛江市和泉本町1-7-16)

入場料金: 全自由席 4,000円

お問い合わせ: アウローラ・クラシカル 044-819-5868

主催: チェンバー・ソロイストツKANAGAWA





Junko Chiba

千葉純子 violin

桐朋女子高等学校音楽科、大学を経て、ジュリアード音楽院を卒業。NYアーティストインターナショナルコンペティションで優勝、カーネギーリサイタルホールでニューヨークデビュー。ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクール3位入賞、タイペイ国際音楽コンクール最高位、フォーバルスカラシップストラディヴァリウスコンクール入賞、イタリアのキジアーナ楽院にて名誉ディプロマを受賞、大垣音楽祭で最優秀新人賞受賞。ソリストとして、プラハ放送交響楽団、プラハ室内管弦楽団、パイヤール室内管弦楽団、ドイツ・バッハゾリステン、ウィーン・ヴィルトゥオーゾ、タイペイ交響楽団などと共演。NHK-FM、BS放送などにも出演。またヨーロッパ各地でリサイタルを開く。CDは、カメラータ・トウキョウ、アウローラ・クラシカル、ビクターよりリリース。ソロ、室内楽のほか、紀尾井ホール室内管弦楽団、チェンバー・ソロイストKANAGAWA、ヴィルトゥオーゾ横浜のメンバーとして幅広く活躍している。フェリス女学院大学音楽学部非常勤講師、洗足学園音楽大学非常勤講師。



Marina Wako

若生麻理奈 violin

2007年生まれ。

2022年、第91回日本音楽コンクール第3位および岩谷賞（聴衆賞）受賞。第1回横浜国際ヴァイオリンコンクール、グランプリ受賞。いしかわミュージックアカデミーIMA音楽賞受賞。

日本演奏家コンクール中学の部最優秀賞及び準グランプリ受賞。

2021年、かながわ音楽コンクール最優秀賞及び県知事賞（大賞）受賞。

2020年、彩の国String Competition最優秀賞およびグランプリ受賞、第74回全日本学生音楽コンクール中学の部、東京大会第1位、全国大会第1位及び兎束賞、東儀賞を受賞。

2018年、日本演奏家コンクール小学生の部第1位および準グランプリ受賞。

2017年、全日本学生音楽コンクール全国大会小学校の部第2位。

現在、桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）1年に在学中。

水野佐知香、原田幸一郎、神谷美千子の各氏に師事。



Michiko Oshima

大島路子 viola

桐朋学園大学を卒業後、イーストマン音楽院にてパフォーマーズ・サーティフィケートを受賞。その後ニューヨークのカサット弦楽四重奏団のメンバーを14年つとめた。ベートーヴェンのクアルテット・チクルスをニューヨーク州立大バッファロー校で二年間担当、またアメリカの現代作品を中心とした17枚のCDを録音。うち3枚が、ニューヨーカー誌の年間ベストCDに選出された。昨今はカントゥス・クアルテット、ヴィルトゥオーゾ横浜、日本橋カルテット、エッジ・エフェクト・アンサンブルのメンバーとして室内楽での活動を続ける。またリトルクラシック in Kawasakiのメンバーとしては、マツダ財団助成（2021年度青少年健全育成に関する研究）および令和四年度神奈川県マグカル展開促進補助を受け、川崎市内の学校や福祉施設で地域社会に向けた音楽プログラムを実施。2014年の桐朋学園大学キャリア支援センターの創設時より、若手のキャリアサポートにもあたっている。



Mikio Unno

海野幹雄 cello

音楽一家に生まれる。バロック、古典派、ロマン派、現代音楽と幅広いレパートリーを持つマルチなチェリスト。全国の主要オーケストラへ定期的に首席奏者として客演のほか、バロック楽器による演奏、編曲や指揮、即興も行う。毎年のソロ・リサイタルの他、横浜市イギリス館ではサロンコンサート「Salon de violoncello」を毎月開催、既に130回を超え好評を得ている。（財）地域創造主催「公共ホール音楽活性化事業」登録アーティスト、「こどものためのクラシック」登録アーティスト（ソニー音楽財団）。室内オーケストラARCUS（アルクス）、ピアニトリオ海(Meer)、作曲家・新垣隆とのデュオ・オリゴ等、数多くのグループに所属。NPO法人「ハマのJACK」理事。東邦音楽大学講師。弦楽器専門誌「サラサーテ」の2018年8月号では表紙&巻頭特集に起用され注目を集めた。2021年8月には2ndアルバム「白鳥〜珠玉のチェロ小品集〜」をリリース。コロナ禍以降、youtubeにて「海野幹雄と仲間たち」という動画シリーズを定期的に配信。

オフィシャルサイト：<http://mikio-unno.com/>



Ayako Kawai

川井綾子 piano

4歳よりピアノを始める。全日本学生音楽コンクール高校の部全国第1位。桐朋学園大学を経てパリ・エコール・ノルマル音楽院最高演奏家課程を首席で卒業。サレルノ国際ピアノコンクール最高位、マリア・カナルス国際コンクール最高位とローレックス賞など受賞多数。パリ・ショパン協会主催「フェスティバル・ショパン」など、ヨーロッパ各地でコンチェルト、リサイタルに出演。

帰国後は、フェリス女学院大学、愛知県立芸術大学で更新の指導にあたる傍ら、新星日本交響楽団、九州交響楽団、神奈川フィルなどのオーケストラとの共演や、横浜市招待国際ピアノ演奏会、ショパン協会リサイタル、NHK-FMへの出演、また「公共ホール活性化事業」やスタインウェイ・ジャパンの登録アーティストとして、各地でトークコンサート、レッスン、コンクールの審査も行っている。リリースした2枚のCDは共にレコード芸術誌において高評価を得、「Fantasy」のバッハは2020年7月号で、「ウィーンをめぐる物語」のシューマンは2023年3月号で、同誌の連載「名曲解体新書」で「わが国が誇るべき名演奏」として邦人代表盤に選ばれた。